

日本漢字音

日本漢字音 『にほんかんじおん』

日本語に借用語として入った漢語の読み方として、原音に基づきながら日本で個々の漢字に固定した音形。「字音」「音」ともいう。日本に借用された時代、および中国語内の方言の差が呉音、漢音、唐音となって反映している。



呉音-ごおん-

中国南方系の発音に基づき、朝鮮を経由して渡来した音。仏教用語として後世まで用いられる。

漢音-かんおん-

隋代・唐代に、長安などの中国北方系の音が遣唐使や留学生によって伝えられたもの。平安時代の初期に正しい音として奨励された。

例

漢字	呉音	漢音
日	ニチ	ジツ
然	ネン	ゼン
若	ニャク	ジャク
男	ナン	ダン
女	ニョ	ジョ
怒	ヌ	ド
米	マイ	ベイ
万	マン	バン
美	ミ	ビ
極	ゴク	キョク
成	ジョウ	セイ
白	ビャク	ハク

数字のイチ、ニイ、サン、シイ、ゴウ、ロク、シチ、ハチ、ク、ジュウは呉音、漢音ではイツ、ジ、サン、シ、ゴ、リク、シツ、ハツ、キュウ、シュウとなります。



七を「シチ(呉音)」で読む語

七福神・七五三・映画「七人の侍」・七度詣・七三(花道上の位置)・七五調・七百石・七面鳥・七十五日・竹林七賢・七転八倒・四十七士
七堂伽藍・娘十七八・人三化七・七味唐辛子・七七四十九・七生報告・色の白いは七難かくす・男敷居をまたげば七人の敵あり
〈訓読、ないし訓読調の文〉人生七十古来稀なり(杜甫「曲江」)・男女七歳にして席を同じうせず
※「なな(訓読み)」で読む語 七転び八起き・七度たずねて人を疑う

四を「シ(呉音・漢音)」で読む語

・シ 四百余州・四天王・四股をふむ・「二十四の瞳」・弦楽四重奏・四半世紀・四球・平行四辺形・四十にして惑わず
※「四斗樽」「四合瓶」は、「しとだる」「よんとだる」、「しごうびん」「よんごうびん」と両用の読み方があり、どちらでもよい。

唐音-とうおん・とういん-

平安中期から江戸時代までに日本に伝来した中国語の発音の総称。禅僧や商人などの往来に伴って主に中国江南地方の発音が伝えられた。多くは単語の形で導入された。

例

行脚(アンギャ)、行灯(アンドン)、椅子(イス)、和尚(オショウ)、看経(カンキン)、庫裏(クリ)
焼売(シュウマイ)、西瓜(スイカ)、簞笥(タンス)、東司(トウス)、法堂(ハットウ)、普請(フシン)

